

議会改革推進委員会 会議録

開催日	平成 25 年 5 月 10 日（金）
会議時間	午前 10 時 00 分 ～ 午前 11 時 16 分
開催場所	第 1 委員会室
出席委員等	[委員長] 清宮 誠 [副委員長] 上ノ山 博夫 [委員] 岩井 功, 橋岡 協美, 五十嵐 智美 小須田 稔, 森野 正, 中村孝治 [オブザーバー] 山口 文明
欠席委員等	
委員外委員	なし
説明のため出席した者の職氏名	なし
議会事務局	[次長] 向後 昌弘 [書記] 村上 一郎, 齊藤 雅一
協議事項	今年度の協議結果に関する総括 次期委員会への引き継ぎ事項について その他

【決定事項】

今年度、議会改革推進委員会で実施した事項及び未実施の事項について、委員の意見を付し、議長に報告する。

【主な協議内容等】

(1) 今年度の協議結果に関する意見

- 特別委員会の審査部局の組み合わせに関しては、再度協議していただきたい。
- 予算・決算関連議案の審議方法の協議は、当委員会以外で協議すべきである。

(2) 次期委員会に引き継ぐ事項に関する意見

(議会基本条例に関する検討課題について)

- 昨年度からの引き継ぎ事項全てを次期委員会に引き継ぐのではなく、課題に応じ、最も適当な委員会で協議すべきである。
- 議会基本条例の検証を議会運営委員会で実施することとなっていることから、議会運営委員会で協議した後、必要に応じて議長から諮問していただくことも検討すべき。
- 審議会等の開催状況に関する報告を求めることに関する具体的な取り決めに速やかに実施すべきである。
- 議会基本条例を検討する際、優先順位を付して協議すべきである。
- 昨年度からの引き継ぎ事項に加え、第 12 条（審議における論点整理）や第 14 条（政策討論会）など、協議が必要な事項はもれなく取り組んでいただきたい。

(通年議会の導入の是非について)

- 地方自治法の改正により協議背景が変化したことから、導入の是非について再度協議が必要である。
- 議会の危機管理の面から、その手法も含め、導入の是非を検討していただきたい。
- 通年会期導入を検討する際、常任委員会のあり方等、議会運営の様々な事項との関連性があることから、慎重に協議を進めていただきたい。

通年会期を導入した場合、震災など不測の事態への対応が速やかに行えることから、メリットがある。

(その他について)

会派に属さない議員の会議への参加に関する協議もすべきである。

議会基本条例の検討課題を協議と併せ、条例そのものの見直し協議もすべきである。

行政のチェック機関としての議会の役割を踏まえ、議会改革の協議を進めていただきたい。

以上のとおり会議録を作成し、ここに署名する。

委員長 清宮 誠